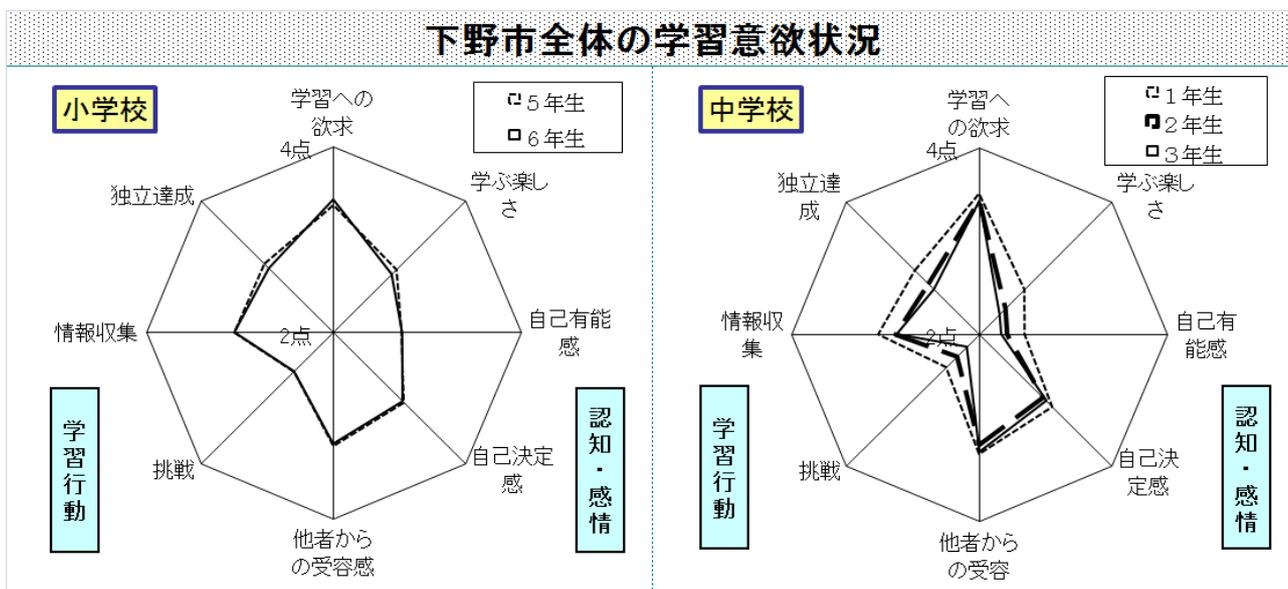


1 学習意欲部会
I 平成25年度 学習意欲調査の結果
1 市全体の状況

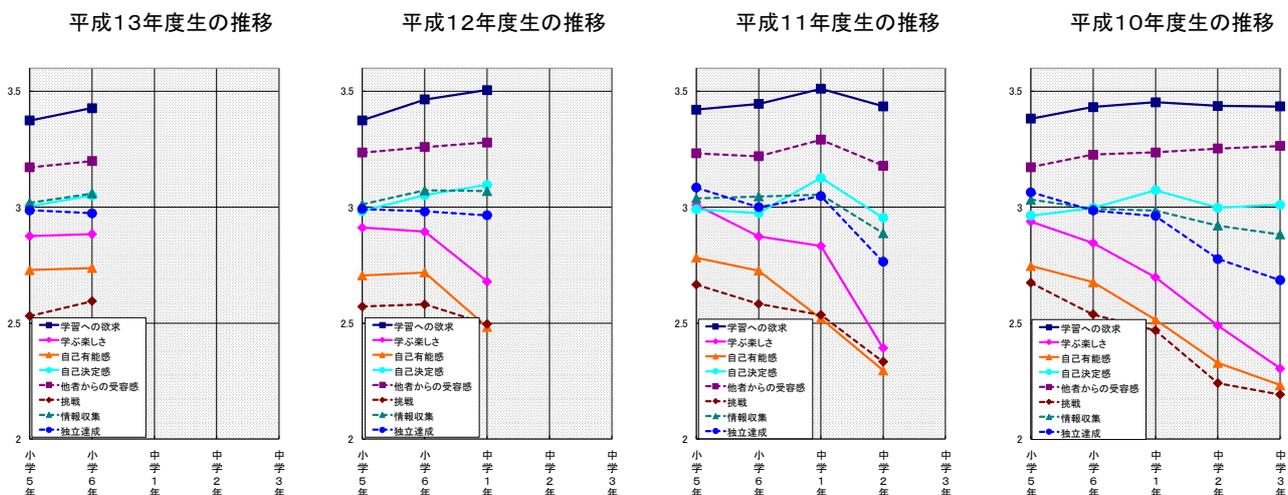


(1) 各要素の平均点

	児童・生徒数	欠席者数	「学習の基盤」				「認知・感情面」						「学習行動」					
			学習への欲求		他者からの受容感		学ぶ楽しさ		自己有能感		自己決定感		挑戦		情報収集		独立達成	
			今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年
小5	645	5	3.37	3.37	3.22	3.17	2.96	2.88	2.73	2.73	3.06	3.00	2.60	2.53	3.06	3.02	3.05	2.99
小6	614	1	3.43	3.46	3.20	3.26	2.88	2.89	2.74	2.72	3.05	3.05	2.59	2.58	3.06	3.07	2.97	2.98
平均	1259	6	3.40	3.42	3.21	3.21	2.92	2.88	2.73	2.72	3.06	3.03	2.60	2.56	3.06	3.05	3.01	2.98
中1	599	20	3.51	3.51	3.28	3.29	2.68	2.83	2.48	2.52	3.10	3.13	2.50	2.54	3.07	3.05	2.97	3.05
中2	633	30	3.44	3.44	3.18	3.25	2.39	2.49	2.30	2.33	2.95	3.00	2.33	2.24	2.89	2.92	2.76	2.78
中3	643	23	3.43	3.49	3.26	3.30	2.30	2.38	2.23	2.30	3.01	3.03	2.19	2.32	2.88	2.91	2.68	2.74
平均	1875	73	3.46	3.48	3.24	3.28	2.45	2.58	2.33	2.39	3.02	3.06	2.34	2.37	2.94	2.97	2.80	2.86

平均点は2.5点

(2) 入学年別平均点の推移



- ① 学6年生 (平成13年度生) ② 中学1年生 (平成12年度生) ③ 中学2年生 (平成11年度生) ④ 中学3年生 (平成10年度生)

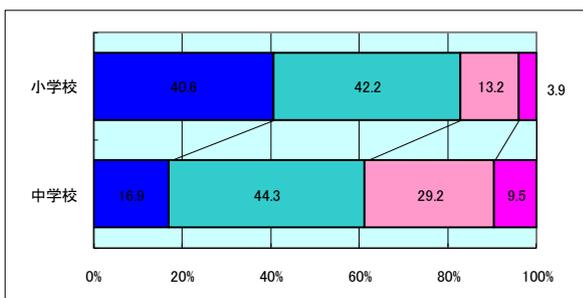
小学6年生(平成13年度生)								
学習の基盤			認知・感情面			学習行動		
	学習への欲求	他者からの受容感	学ぶ楽しさ	自己有能感	自己決定感	挑戦	情報収集	独立達成
小5	3.37	3.17	2.88	2.73	3.00	2.53	3.02	2.99
小6	3.43	3.20	2.88	2.74	3.05	2.59	3.06	2.97

中学1年生(平成12年度生)								
学習の基盤			認知・感情面			学習行動		
	学習への欲求	他者からの受容感	学ぶ楽しさ	自己有能感	自己決定感	挑戦	情報収集	独立達成
小5	3.37	3.24	2.91	2.70	2.98	2.57	3.01	2.99
小6	3.46	3.26	2.89	2.72	3.05	2.58	3.07	2.98
中1	3.51	3.28	2.68	2.48	3.10	2.50	3.07	2.97

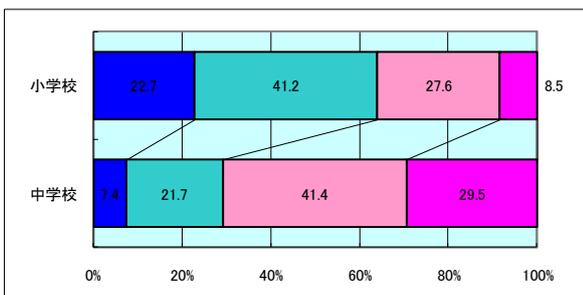
中学2年生(平成11年度生)								
学習の基盤			認知・感情面			学習行動		
	学習への欲求	他者からの受容感	学ぶ楽しさ	自己有能感	自己決定感	挑戦	情報収集	独立達成
小5	3.42	3.23	3.01	2.78	2.99	2.67	3.04	3.08
小6	3.45	3.22	2.87	2.73	2.97	2.58	3.05	3.00
中1	3.51	3.29	2.83	2.52	3.13	2.54	3.05	3.05
中2	3.44	3.18	2.39	2.30	2.95	2.33	2.89	2.76

中学3年生(平成10年度生)								
学習の基盤			認知・感情面			学習行動		
	学習への欲求	他者からの受容感	学ぶ楽しさ	自己有能感	自己決定感	挑戦	情報収集	独立達成
小5	3.38	3.17	2.94	2.75	2.96	2.67	3.03	3.06
小6	3.43	3.23	2.85	2.68	3.00	2.54	2.99	2.99
中1	3.45	3.24	2.70	2.51	3.07	2.47	2.99	2.96
中2	3.44	3.25	2.49	2.33	3.00	2.24	2.92	2.78
中3	3.43	3.26	2.30	2.23	3.01	2.19	2.88	2.68

※左から、○、どちらかという○、どちらかという×、×
「勉強は楽しいですか。」



「テストでは、よい成績をおさめていると思いますか。」



<学習の基盤>

【学習への欲求】

市全体の傾向として良好な結果であると言える。「自分の好きなことに時間を忘れて熱中していることがありますか」の項目では、中学校に入学すると、部活動なども始まることなどから高くなり、ポイントを上げている要因のひとつと言える。

【他者からの受容】

小中学校ともに、「学習について、家族と話したり相談したりすることはありますか」の項目のポイントが低い。家庭への啓発が必要と言える。グループ学習での友人との話し合いは良好で、話し合いを用いた授業の有用性が見取れる。

<認知・感情面>

【学ぶ楽しさ】

経年比較だと学齢が上がるにつれポイントは下がっていく。勉強の楽しさや好きと感じるポイントが中学校になると大幅に下がる。内容も難しくなるが、学ぶ楽しさを実感させる手だてを講じる必要があると言える。わかる授業を目指すべきであろう。

【自己有能感】

これも学ぶ楽しさと同様、学齢が上がるにつれポイントは下がっていく。中でも「テストではよい成績を収めていると思いますか」「自分の成績はあまり良くないと思いますか」の項目で、中学校は大変低い。成績順位が出る中学校では、より一層わかる授業への工夫・改善が必要であろう。

【自己決定感】

経年比較では大きな変化は見られないが、「家庭学習は自分で時間を決め、計画的に取り組んでいるか」の項目で、中学校のポイントが低い。小学校も高いとは言えず、自ら計画を立て、進めていく力を強化していかなければならないだろう。

<学習行動>

【挑戦】

全体として例年ポイントが低い部分である。「むずかしい問題をどんどん解こうとしていますか」という項目では、中学校で極端にポイントが下がるが、逆に「やさしい問題が好きですか」という項目ではそうではない。自己有能感との関連も考えられるが、これも指導の工夫が必要と思われる。

【情報収集】

小中学校ともに、「わからないものは自分で調べず、そのままにしていることがありますか」の項目のポイントが低い。小学校から調べ学習や課題学習などの要素を取り入れた授業を展開し、自分で解決していく力をつけていく必要があると思われる。

【独立達成】

経年比較では、徐々にポイントが低下してきている。中でも、「問題が解けないとき、すぐに答えを見たくありませんか」「むずかしい問題でも、できるだけ自分の力で解いていますか」の項目で、中学校になると極端に下がっている。これも【情報収集】との関係性から、自分の力で解決できるような具体的な手だてが必要と思われる。

2 学習意欲と生活習慣との関連

(1) 全市小学生の結果

	学習意欲の項目	学習への欲求	学ぶ楽しさ	自己有能感	自己決定感	他者からの受容感	挑戦	情報収集	独立達成	平均値	平均値の差
生活の実態についての質問											
朝食は毎日食べていますか。	はい	3.40	2.94	2.75	3.07	3.22	2.61	3.07	3.02	3.05	0.33
	いいえ	3.24	2.39	2.36	2.68	2.95	2.23	2.70	2.75	2.73	
	差	0.17	0.55	0.39	0.39	0.27	0.38	0.37	0.27	0.33	
勉強以外でむだに夜ふかしをしませんか。(テレビやマンガ、ゲーム等)	はい	3.46	3.04	2.84	3.17	3.27	2.71	3.17	3.12	3.14	0.24
	いいえ	3.30	2.74	2.56	2.89	3.11	2.42	2.89	2.83	2.89	
	差	0.16	0.30	0.28	0.28	0.16	0.28	0.28	0.29	0.24	
朝は自分一人で起きられますか。	はい	3.45	3.04	2.82	3.16	3.23	2.71	3.16	3.12	3.13	0.23
	いいえ	3.31	2.71	2.58	2.89	3.17	2.40	2.90	2.83	2.90	
	差	0.14	0.33	0.24	0.26	0.06	0.31	0.26	0.29	0.23	
自分の部屋は、自分で整理整頓していますか。	はい	3.45	3.01	2.80	3.19	3.25	2.70	3.16	3.11	3.13	0.28
	いいえ	3.27	2.70	2.57	2.75	3.11	2.36	2.82	2.77	2.85	
	差	0.19	0.32	0.23	0.44	0.15	0.34	0.35	0.34	0.28	
家族のために何か手伝いをしていますか。	はい	3.43	2.98	2.78	3.11	3.25	2.66	3.12	3.06	3.09	0.34
	いいえ	3.19	2.56	2.47	2.73	2.98	2.21	2.73	2.70	2.75	
	差	0.24	0.42	0.31	0.39	0.26	0.45	0.39	0.36	0.34	
家族とはよく話をしていますか。	はい	3.42	2.95	2.76	3.09	3.25	2.62	3.08	3.03	3.07	0.33
	いいえ	3.18	2.54	2.43	2.72	2.70	2.31	2.83	2.79	2.74	
	差	0.24	0.41	0.33	0.37	0.55	0.31	0.25	0.24	0.33	
勉強以外のことで、自信を持ってやれることがありますか。	はい	3.42	2.96	2.77	3.09	3.23	2.63	3.09	3.04	3.07	0.30
	いいえ	3.20	2.59	2.38	2.78	3.00	2.29	2.78	2.76	2.77	
	差	0.22	0.37	0.40	0.32	0.24	0.34	0.32	0.28	0.30	
家庭学習は、毎日だいたい決まった時間していますか。	はい	3.46	3.10	2.87	3.26	3.30	2.73	3.20	3.16	3.17	0.32
	いいえ	3.30	2.65	2.53	2.76	3.07	2.40	2.85	2.79	2.85	
	差	0.16	0.45	0.35	0.49	0.22	0.33	0.36	0.37	0.32	
学習塾に行ったり、家庭教師により勉強したりしていますか。	はい	3.45	3.00	2.80	3.10	3.22	2.69	3.13	3.08	3.10	0.10
	いいえ	3.36	2.86	2.68	3.03	3.20	2.53	3.01	2.96	3.00	
	差	0.09	0.14	0.11	0.07	0.01	0.16	0.12	0.12	0.10	
進路について目標がありますか。	はい	3.40	2.92	2.74	3.06	3.21	2.60	3.06	3.01	3.04	0.38
	いいえ	3.08	2.46	2.17	2.88	2.79	2.08	2.71	2.75	2.67	
	差	0.32	0.46	0.57	0.18	0.42	0.51	0.35	0.26	0.38	
学習について何か悩みはありますか。	はい	3.38	2.82	2.58	3.04	3.17	2.49	3.00	2.90	2.97	-0.09
	いいえ	3.40	2.95	2.78	3.06	3.22	2.63	3.08	3.05	3.07	
	差	-0.03	-0.14	-0.2	-0.02	-0.06	-0.15	-0.08	-0.15	-0.09	

「はい」と回答した児童と「いいえ」と回答した児童の項目の「差」を「はい・いいえ」の欄の下に設けた。
(全市中学生の表も同様)

(2) 全市中学生の結果

	学習意欲の項目	学習への欲求	学ぶ楽しさ	自己有能感	自己決定感	他者からの受容感	挑戦	情報収集	独立達成	平均値	平均値の差
生活の実態についての質問											
朝食は毎日食べていますか。	はい	3.47	2.47	2.34	3.03	3.25	2.35	2.95	2.81	2.90	0.28
	いいえ	3.20	2.17	2.18	2.66	2.93	2.05	2.69	2.51	2.62	
	差	0.26	0.30	0.16	0.38	0.32	0.30	0.26	0.31	0.28	
勉強以外でむだに夜ふかしをしていませんか。(テレビやマンガ、ゲーム等)	はい	3.50	2.59	2.41	3.13	3.31	2.44	3.05	2.90	2.98	0.18
	いいえ	3.41	2.30	2.26	2.89	3.17	2.22	2.83	2.69	2.80	
	差	0.09	0.29	0.15	0.24	0.15	0.22	0.22	0.21	0.18	
朝は自分一人で起きられますか。	はい	3.47	2.48	2.37	3.05	3.25	2.38	2.97	2.84	2.92	0.08
	いいえ	3.43	2.41	2.27	2.96	3.23	2.26	2.88	2.73	2.84	
	差	0.04	0.06	0.09	0.10	0.02	0.12	0.09	0.12	0.08	
自分の部屋は、自分で整理整頓していますか。	はい	3.48	2.50	2.36	3.08	3.28	2.36	2.98	2.84	2.93	0.15
	いいえ	3.38	2.29	2.25	2.83	3.12	2.25	2.81	2.69	2.78	
	差	0.10	0.21	0.11	0.25	0.16	0.11	0.17	0.14	0.15	
家族のために何か手伝いをしていますか。	はい	3.50	2.52	2.38	3.08	3.29	2.39	3.02	2.86	2.95	0.21
	いいえ	3.34	2.26	2.21	2.86	3.09	2.19	2.74	2.62	2.74	
	差	0.16	0.26	0.17	0.22	0.20	0.20	0.28	0.24	0.21	
家族とはよく話をしていますか。	はい	3.48	2.49	2.36	3.05	3.30	2.35	2.97	2.83	2.92	0.24
	いいえ	3.27	2.21	2.17	2.84	2.82	2.21	2.77	2.61	2.69	
	差	0.21	0.28	0.19	0.21	0.48	0.14	0.20	0.22	0.24	
勉強以外のことで、自信を持ってやれることがありますか。	はい	3.48	2.50	2.37	3.04	3.28	2.37	2.99	2.83	2.93	0.18
	いいえ	3.33	2.22	2.18	2.94	3.07	2.20	2.76	2.66	2.74	
	差	0.15	0.28	0.19	0.10	0.21	0.16	0.23	0.17	0.18	
家庭学習は、毎日だいたい決まった時間していますか。	はい	3.52	2.63	2.46	3.23	3.33	2.45	3.08	2.94	3.02	0.25
	いいえ	3.40	2.27	2.21	2.81	3.16	2.23	2.81	2.66	2.77	
	差	0.12	0.36	0.25	0.41	0.17	0.22	0.27	0.28	0.25	
学習塾に行ったり、家庭教師により勉強したりしていますか。	はい	3.50	2.49	2.38	3.04	3.29	2.40	3.00	2.85	2.94	0.10
	いいえ	3.41	2.41	2.28	3.00	3.18	2.25	2.87	2.75	2.84	
	差	0.09	0.08	0.10	0.04	0.11	0.15	0.13	0.10	0.10	
進路について目標がありますか。	はい	3.49	2.49	2.37	3.04	3.27	2.36	2.98	2.82	2.92	0.19
	いいえ	3.31	2.22	2.14	2.91	3.09	2.19	2.75	2.68	2.73	
	差	0.18	0.27	0.23	0.13	0.18	0.17	0.23	0.14	0.19	
学習について何か悩みはありますか。	はい	3.48	2.33	2.20	2.99	3.24	2.23	2.89	2.72	2.84	-0.09
	いいえ	3.44	2.53	2.42	3.04	3.24	2.41	2.98	2.86	2.93	
	差	0.036	-0.2	-0.21	-0.04	-0.01	-0.18	-0.09	-0.14	-0.09	

(3) 2 (1) (2) の考察

—小学生—

- ・「家族とよく話をする」児童は【他者からの受容感】が高くなっている。また【学ぶ楽しさ】を感じる児童も多くなっている。小学生にとっては、家族との会話が安心感を生み、学習意欲に大きな影響を及ぼすものと考えられる。
- ・「家族のために手伝いをしているか」では、【学ぶ楽しさ】と【挑戦】で大きな差が見られる。家庭の中で役割を持つことが、児童のやる気を伸ばしていくことにつながると考えられる。
- ・「朝食」については【学ぶ楽しさ】で大きな差が見られる。朝食を摂り生活習慣を整えることで、楽しく前向きに学習に向かう意欲も向上すると思われる。
- ・「進路についての目標」は、各要素の平均値の差が一番大きかった。その中でも、特に【自己有能感】や【挑戦】に関しては、差が開いている。自分への自信を持たせることが、将来への目標を持ち、チャレンジする行動へと結びつくと思われる。
- ・「勉強以外の自信」・「家庭学習」に関しては、各要素の平均値で大きな差が見られる。【学ぶ楽しさ】・【自己有能感】・【自己決定感】という認知・感情面が、【挑戦】などの行動面と密接に関わり合っていることが推測できる。教師が、児童の良さを認めたり受容したりすることで、児童の自己有能感が育つといえる。勉強以外の場面でも、大いに褒め、自信を持たせることが、学習意欲の向上へとつながると考えられる。

—中学生—

- ・『挑戦』『情報収集』『独立達成』が要素である「学習行動」や『自己決定感』では、「朝食」が大きく影響しているといえる。学力向上には毎日の生活において規則正しく朝食をとることがいかに大切かを理解することが必要である。また、ゲームやテレビなどに費やす時間が多い生徒ほど「学習の楽しさ」の点で少ない生徒の値との差が大きく下回る。また、スマートフォンなどの端末の普及でいまや中学生もそれらの所持が当たり前になりつつある社会背景で、より一層それらの過度の使用で生徒の学習意欲に影響が出ることが懸念される。
- ・家族とよく話をするほど、『他者からの受容感』の値が高い。前述の繰り返しになるが、生活習慣は大きく生徒の気持ちや学力にも影響を及ぼす事が言える。
- ・中一から中三になるに従い『自己有用感・挑戦・学ぶ楽しさ』の値が減少していく。思春期であることや受験生であることが相互作用しての結果であることが容易に考えられる。だが、教師側が入念な教材研究→授業改善の工夫をすることを通して、本市の中学生を本気で支援していくことでそれらの値を向上させていくことも可能であると考える。
- ・「生活の実態」がその児童・生徒の学力向上に大きく影響をすることが、今回の調査からも読み取ることができた。では、家庭教育力を誰がどのように高めるのかという議論も今後各学校において大切なのではないかと。
- ・「家庭学習を毎日決まった時間におこなう」項目においては「はい」と「いいえ」に大きな差が出た。「課題を出す→翌日確認する」というしっかりとした教師側のサイクルを大事にして生徒達の家庭での取り組みを支援していくことで、「自己決定感」の数値をあげていくのはどうだろうか。

—小学生と中学生の比較—

- ・平均値の差で比較すると、全11項目のうち9項目が、小学校の方が「生活の実態」による差が大きい。年齢が低いほど「生活の実態」が学習に影響を及ぼしていると考えられる。また、小中学生とも「家族のために何か手伝いをしている」「家族とはよく話をしている」の項目で平均値の差が大きく、学齢期における学習意欲と家族との関係は大きいと考えられる。
- ・小中の平均値の差が一番大きい項目は「進路について目標がある」の項目で小学校の0.38に対して中学校では0.19である。これは、中学校での進路指導を受け、小学生のときよりも自分の将来像が見えるようになり、差が縮まったと考えられる。
- ・昨年度の小学生の結果では、平均値の差が0.3以上の項目が3項目あったが、今年度は6項目に増えている。徐々に生活実態の変化が進んでいるのかもしれないので、継続して変化に注目したい。

3 全国学力学習状況調査分析（中学校）

(1) 下野市の中学生は「早寝・早起き・朝ご飯」全国トップクラス

下野市結果

例) 1学級を30人として

21人が6:30までに起床	下野市81%	全国73%
27人がきちんと朝食を摂り	下野市89%	全国84%
24人がほぼ同じ時間に就寝	下野市81%	全国74%

という調査結果が明らかになった。また、学習意欲が旺盛であるなど、下野市の中学生は全国平均を上回る結果を得た。加えて平日一日あたりのテレビ、ビデオ、ゲームに充てる時間が大きく全国平均を下回り、代わりに「家の人と学校での出来事について話しをする」と答えた生徒が平均を約10ポイント上回った。

「自分にはよいところがある」と答えた生徒も約80%になることがわかり、家庭の支援の高さを感じる結果が明らかになった。

(2) 携帯やスマホの使い方にやや問題あり

携帯所有率	全国 64%	30人学級として	19人
	下野市43%		12人

全国から比べると下野市の中学生の携帯所有率が低いことがわかった。しかし、注目すべきなのは「家の人と使用について約束したことを守っているか」という事に関しては、「守っている」と答えた数値は全国平均以下の結果が出ており、家庭生活において携帯を与える保護者の責任を学校として話し続けていく必要があることが明らかになった。

(3) 下野市の中学生は、積極的に土曜日の午前中に部活動に取り組む！

土曜日午前中に部活動に取り組む生徒割合は
全国65% 県76% に対して
本市は81%

かけがえないこの時期に思いっきり部活動に取り組むことを学校・家庭から支援することは学習面に良い影響を与えると考えられる。成功体験を多く積みませ経験値を上げるようにしていきたい。

4 今後について

学習意欲調査が始まって8年になる。調査結果を児童・生徒理解に役立てるばかりでなく、実際の指導をふり返り改善することに役立てることが望まれる。

今年度は、結果をより有効に活用してもらおうと、グラフの示し方に改善を加えた。また、入学年別に経年変化が把握できるように、要素ごとに昨年度と今年度の数値を併記するようにした。

学習意欲部会としては、今後も要素の推移の基礎となる、質問毎の回答状況を整理したり、学習意欲を向上させる具体的な取り組みについて研究を進めたいと考えている。各学校において、これらのデータが有効に活用され、学習意欲向上に役立ててもらえれば幸いである。